

## 05 令和3年度 学校評価（学校評議員）2

第1回  
令和3年4月30日

### (1) 会次第及び議題

- 1 委嘱状交付
- 2 校長挨拶及び会則説明
- 3 委員の紹介、役員選出、会長挨拶
- 4 学校評議員会（コミュニティ・スクール）について
- 5 学校経営方針
- 6 北松西高の概要
- 7 施設の整備実績
- 8 本校の魅力化及び存続策について  
    小中高一貫教育  
    アイランドチャレンジ事業
- 9 R2 第3回コミュニティ・スクールの内容について
- 10 提言等
- 11 その他

### (2) 学校評議員からの意見・助言等および対応

- ① 小値賀町「ふるさと留学」の現在の状況と課題について  
→ 今年度中2男子、中1男子、中1女子の3名が留学してきた。1ヶ月が経ち、疲れが出てきているようだ。北松西高の存続もふるさと留学の最終目標の1つでもある。他地区から受検してくれるような魅力がほしい。
- ② 地域の子ども達が地域の歴史を知るような「おぢか学」を小中同様にカリキュラムに取り入れてはどうか。  
→ 旧石器時代・古墳時代・遣唐使・キリシタン等、小値賀の歴史を語るものは数多い。このような時代だからこそ、小値賀から始めたい。交流が得意な土地柄であることを生かしたい。
- ③ 家庭科の教員が配置されていないが、大丈夫か。  
→ 欠員補充をハローワークにもかけているが、厳しい状況である。教員採用試験が終わった後希望者が出る可能性があるが、1年配置無しかもしれない。改めて県教委に要望したい。
- ④ ICTの状況はどうなっているのか。  
→ 校内の無線LAN等の整備はできており、7月までに配置される予定の一人一台タブレット以外は使用可能である。タブレットは小中で使用しているタイプとは異なるが、ソフトは小中で使用中の「ロイロ・ノート」を採用する予定である。
- ⑤ 小値賀町にも、移住者の方で頑張っておられる方が多くいらっしゃる。是非、活用を検討してほしい。  
→ 学芸員の平田さんや民泊経営の博多屋さんなど、IターンやUターンでの移住者で元気に頑張っておられる方が多

	<p>い。是非、お力を貸していただきたい。実際に今年度7月に予定している「人生の達人セミナー」は、日本映画照明協会理事で本校OBの藤屋登様に依頼している。</p>
<p>第2回 令和3年8月 5日</p>	<p>(1)会次第及び議題</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 校長挨拶</li> <li>2 学校評価（生徒・保護者）中間評価</li> <li>3 学校評価（分掌・学年・教科）中間評価</li> <li>4 施設の整備計画</li> <li>5 令和4年度高校入試志願状況（7月1日分）</li> <li>6 班別協議</li> <li>7 その他</li> </ol> <p>(2) 学校評議員からの意見・助言等および対応</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 北松西高の魅力化を発信し、入学希望者の増加を図る取組を。       <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 北松西高では生徒が少人数ということで、逆にきめ細やかで丁寧な指導を行っている。今年度はコロナ禍のためにオープンスクールが中止になったが、この手厚い指導等のことを地元（特に中学生の保護者）に積極的に伝えていく機会を作ってほしい。</li> </ul> </li> <li>②小値賀町自体が持つ素晴らしい魅力の発信をしてほしい。       <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 北松西高単独で発信するだけでは、プロでないので見せ方が上手くない。そこで、小値賀町役場や小値賀町教委など様々なものと連携しながら小値賀町自体が持つ魅力も伝えていってほしい。可能ならば、専門家に入学専用HPなどを作成してもらうのもよいのではないかな。</li> </ul> </li> <li>③ 小値賀町「ふるさと留学」制度などのさらなる活用を。       <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 「ふるさと留学」専門のHPを作成してもらい、そこから情報発信していくとよい。また、島外の子供も達が世界遺産の野崎島に県内30名募集のキャンプ（小値賀町IT協会主催）に参加している。もともと小値賀町に興味がある子供も達なので、ふるさと留学についてPRする機会を作ってもらえればよいのではないかな。</li> </ul> </li> <li>④ 小中高一貫教育の強化と地域の方々とのさらなる連携。       <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 小値賀町教育の最大の特徴は、小中高一貫教育である。しかし、長く続けていると低迷期になってくるものである。さらなる仕掛けが必要である。また、地域からの支援を受けて県内小規模校では唯一の普通教室への空調設備が設置されていることをもっと宣伝してもよいのではないかな。</li> </ul> </li> <li>⑤ 在校生に小値賀の豊かな自然を体験させる活動を。       <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 在校生詩人が魚釣り体験や、農業（野菜作り）体験など、ここでしかできないことを経験させることで、小値賀の豊かな</li> </ul> </li> </ol>

	<p>な自然の魅力を感じさせてほしい。そのためには、ある程度部活動の時間を削るなどの思い切った取組も必要ではないかと思う。</p>
<p>第3回 令和4年2月22日</p>	<p>(1) 会次第及び議題</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 校長挨拶</li> <li>2 学校評価（生徒・保護者）最終評価</li> <li>3 学校評価（分掌・学年・教科）年度末評価</li> <li>4 施設の整備計画</li> <li>5 小値賀地区小中高一貫教育の方向性</li> <li>6 修学旅行</li> <li>7 令和4年度高校入試志願状況（11月1日分）</li> <li>8 ふるさと教育全体計画</li> <li>9 COREハイスクールネットワーク事業</li> <li>10 来年度の学校評議員会</li> <li>11 提言等</li> <li>12 その他</li> </ol> <p>(2) 学校評議員からの意見・助言等および対応</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 学校評価の家庭学習において、1年生の自己評価が低いが何かあるのか。       <ul style="list-style-type: none"> <li>→ テスト前はどのようにいいのかわかっているが、普段の授業の予習・復習は中学校までと違い、大変である。例年の1年生の状況と比べて変わらないと考えている。</li> </ul> </li> <li>② 服装頭髪検査では1年生の不合格者が多くなっているが、どうしてか。       <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 昨年度まで毎月1回教員が服装頭髪検査を行っていた。しかし、現在は生徒の自主性や委員会活動の活性化のため、自分達でのチェックを毎月行い、教員の検査は学期に1回にした。そのため、基準がしっかりしていた2・3年生との差が出てきたと考えられる。</li> </ul> </li> <li>③ 体育館の防水改修の予算要求は2年目ということだが、通る可能性はあるのか。       <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 体育館は災害時の避難所に指定されているところなので最優先に要求しているところである。ただし、県全体の予算の総額もあり、県の方で検討してもらっている。4月には要求が通ったかどうか判明すると思われる。</li> </ul> </li> <li>④ 海外修学旅行においては、通訳無しでの交流になるのか。またワクチン接種していない生徒への対応はどうか。       <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 小値賀町英語教育の集大成として海外修学旅行を計画しており、通訳無しでの交流を目指して指導している。またワクチン未接種生徒も参加させる方針である。ただし、受け入れ先が接種義務を求めてきた場合は、検討していきたい。</li> </ul> </li> <li>⑤ ふるさと教育、COREハイスクールネットワーク事業および来年度の学校評議員会について。</li> </ol>

	<p>→ R3年度中に作成が求められているふるさと教育全体教育の連携機関およびCOREハイスクールネットワーク事業におけるコンソーシアムについて、委員の皆様をお願いしたい。なお、来年度の学校評議員会もコミュニティー・スクールの試行期間として位置付けられている。今後論点整理・テーマ研究を行って行きたい。来年度もご理解・ご協力を賜りたい。</p>
--	--